

TRADE MARK



HIGHEST CLASS  
SM Note-Book

自昭和十七年九月廿一日

予科 サツカ一部部誌

練習日誌



9月21日(月) 雨

六時国立富嶽荘に集合。集合状態良好。  
合宿諸注意は頼藤さんの話がある。この合宿及  
秋の目標は蹴球部の再建にある事は勿論であるが  
その第一歩として南大蹴球部の原動力たる予科の  
全面的向上を目的とする。我々の若  
さを以て頑強らなくてはこの目標に達することは出来ない。  
合宿<sup>前</sup>夜。我々は大小の張切つし満を持してゐる。  
我々<sup>前</sup>にあるものは行動的に何れ大を示し得るからである。  
(奥村)

9月22日(火) 晴レリ雨降ワリ

午前の練習 (本科グラウンド)

1. ラニング
2. スワーピング
3. 球送り
4. 馬跳び
5. リレー
6. ラニング

午後の練習 (専門部体育館)

1. 体操
2. ラニング
3. 縄跳び
4. ストッピング
5. コートキック
6. ハフティング
7. バスケ
8. ラニング

今年は今迄の夏の合宿とは大分趣を異にしてゐる。  
頼藤さんから、その事は云はれた事であるが、割愛す。  
そして僕が云ひたいのは先日の送別会、席上の藤塚  
さんの激励の言葉である。"予科はナメクジみたいな  
であつた"と。誰か反撥せざるものがあるや。  
我々若い予科生がナメクジと云はれる程、全



活を送るためのならぬ。大いに反省すべきである。  
常に云はれぬべきである。予科は原動力なり  
と何夜も聞いぬべきである。それ故に最も必要と  
せらるるは、即ち此の言葉を現実へ具体化する  
ことが最も切望せらるるは、今より以上は強要す  
ものはない。我々の肩の上には重い荷物ゑのつて  
ある。それを重ければ「重い程」努力の仕甲斐が  
あるのはあるまいか。

私は予科生諸君に呼びかける。「予科生よ。  
若いんだ。若い諸君を以て二倍三倍の苦行  
に堪へて行かう。それ自身が成長するには出来な  
いんだ」と積極的にやむをえない。  
私はどうにかに蹴球部を盛り上げて行き  
たい。そのために諸君の協力一致を望む  
次第でありませう。若人としての意気と熱をグラ  
ドに磨き上げて貰いたい。特に一年生諸  
君に呼び掛ける。 (永倉)

9月23日 (水) 晴。

朝 ランニング = 0分。  
午後 ランニング: 縄跳(=10) スローピング(=10).  
heading. サイドキック. ドリブルボール. ランニング  
午後 ランニング: シフトター. ドリブル. =10, 速リッパ=10.  
スローピング: サイドキック, short kick.  
place kick, circular kick. 三角鬼.

一日振りりの好天気、日高く、空青し。午前十  
分木立見えぬ。裸も入台通りか。  
スローピングの時、球の押し方の注意。  
午後は専ら部員グラウンドで行ふ。何ヶ月振り  
のボールのあたり具合、まだ足んない。あ  
ドリブルと数多く行ふ。大事なポイント。あ  
よく注意に自分のものに注意。  
歸りのランニングは金色の光の中を、白の  
の波に迎われ、長い影の影は送り  
て走った。之で二日目、あと四日間の  
やらう。 (Sato)



他部練習あり

九月二十四日(木) 快晴

朝 本科ノグラントニテ作操  
午前 ラニング, ニノ、作操  
ドリブル(四回), side-kick,  
short-kick, stop-and-pass  
place-kick, long-kick  
dash, running, 作操  
松本先輩が應接ニ来ラレ  
皆張切ル。  
居川・村木両先輩(新先輩)モ應接  
ニ来ラレタ。

午後 専門部ニテ

running, start-dash, shadow,  
dribble(六回), side-kick,  
short-kick, stopping,  
receive-and-pass, receive-and-  
kick(circle(作操)), direct-  
kick, ~~ニテ~~ circle-dash,  
running, 作操。

枝村・山田両先輩モ應接ニ来ラレタ。  
久江振ニ良イキツクヲシテ快哉ヲ叫ブ。  
藤塚新先輩モ應接。(加藤)

九月廿五日(金) 晴

朝 合宿所の前にて軽々作操  
午前 ----- 練習休み 静養をとる。

- 午後
1. Running
  2. Start-dash
  3. Dribble(四回)
  4. side-kick
  5. short-kick
  6. heading
  7. stop-and-pass
  8. ボール kick
  9. long-kick
  10. Running

今日迄好天候に恵まれ、皆蹴球部再興の  
氣に満ち、張切つた練習が去来を喜び  
思ふ。今期の合宿は實に明朗味溢れ、又  
盛り上げる柳を氣魂がこわつて、全く氣持が良  
この張り切つた氣分で部内の明朗な氣分で  
今期の合宿のみならず、今シーズン~~を終~~を終始  
せんことを祈つて止まぬ。  
いはば予科リーグも目睫にせまり、僕達の責  
任の重さ大なるを感ずる。最後に氣持をゆるめ  
る事無し、元氣にやつて行かう。

以上。(川端記)



九月二十六日 壬 晴後雨

朝 Running 天満宮迄

- 午前.
1. Running
  2. Start dash
  3. Dribble --- free 2回 shadow defence 2回
  4. Running pass
  5. short kick
  6. Receive & pass
  6. Long kick
  7. Round race
  8. 左右 Dash
  9. Running

- 午後
1. Running
  2. shadow
  3. Dribble
  4. Short kick
  5. Running pass
  6. Receive & pass
  7. Long kick
  8. Running

神野. 大掛. 藤塚. 居川の諸先輩が来られ我等の意氣益々あがる。吉澤さんも急いで所を来られて呉れた。午前中は快晴であったが午後の long kick の時雨が降り出して来たけれど一同なほ元氣にて跳り続けたが遂に豪雨となり練習中止の止むなきに至った。

今まで何の事故もなくやって来たが、あとの二日もこの調子で終りたい。(高柳)

九月二十七日 丑 曇

朝 学部兼松溝堂ちにて軽々件操。

- 午前.
1. Running.
  2. Dribble --- free 2回, defence 2回
  3. Short Kick.
  4. Running Pass 2回.
  5. Circle Kick. (stop and direct).
  6. Shooting
  7. 左右の Dash.
  8. Running.
- ④の次に fly goal を胸腹も等にて stop.

- 午後.
1. Running
  2. Dribble --- free 2回, defence 2回
  3. Short Kick
  4. Running Pass 3回
  5. Heading の競合.
  6. Shooting
  7. Circle Kick
  8. 左右の Dash.
  9. Running

午後の練習に大掛さんが加はる。Ground に控ける大掛さん比責。瀬藤主将のあの言葉、顔付、予科生より再考する時だ。後一日、全宿も終りに近づいて後を振り返り明日一日を最大限まで利用しよう。部員としての責任上とかいふ気持なしに、どこまでも積極的に、active な気持でやって来た事を深く感謝する。

以上。

(49) 山

(附記)

夜瀬藤さん、今日の練習 其の他について話があった。午後の練習といふ。夜瀬藤さんの節話といふ。私には其処には、等々の意氣を感じた。全宿中、自分と互有に、決して最善を盡し得たといふ云々なり。それ故に決して僅か六日や七日の中に保たれた蹴球部の真髓を掴み得たといふ云々なり。遂に今夜は我等のその一部に觸れた標を氣持のする。

(終)



九月二十八日(月) 晴

朝 学部兼松講堂前で軽い体操

- 午前
1. running
  2. start-dash
  3. dribble - free 2回, defence 2回
  4. short-kick ○ running-pass
  5. heading-shoot (foreword) sliding-tack (back) (stop)
  6. shooting 7. circle-kick (direct)
  8. running

- 午後
1. running
  2. start-dash
  3. dribble-free - 2回
  4. short-kick
  5. running-pass 6. shooting (foreword passを受けて)
  7. clearing (back - んっっ)
  8. circle-kick (stop と direct)
  9. running (天満宮 往復)

自分と竹山との午後の教練の為時間割を少しかへて午前は30分早く、午後は一時間遅く練習を初めた。一同元気で張切った。午後、土屋さん、藤塚、村木、石川、山田の四先輩が来られた。午後の練習後全員揃って合宿最後のrunning、一人の落伍者もなく、全員のパも身作も一致して走り、歸った時はもう真暗であ

った。今日で最後合宿最後の練習が終った。全合宿中一人の事故者もなく、和気両々の中に過ぎ、今迄一期には見られなかった意気が上り、一年の我々は始めて蹴球部の真隨の一部にふれ、甚だ有義な合宿を終った。

合宿程楽しいものはない。我々一年は今迄のだらしない練習では決して得られなかった或る力を得、今後の努力の基礎を作った。予科リーグが迄五日間、この調子を愈々高めて張切らう。そして予科リーグにきつと勝たう。(岡本)

十月一日(木)

曇

15時閉校

予科リーグメンバー発表

- |                              |            |            |    |
|------------------------------|------------|------------|----|
| ( 佐藤<br>岡本<br>眞村<br>永倉<br>高橋 | ( 松浦<br>川端 | ( 竹山<br>金原 | 加藤 |
|                              |            |            |    |

- 1) グラウンド
  - 2) ドリブル
  - 3) short kick
  - 4) long kick
  - 5) running-pass
  - 6) shooting
  - 7) clearing (五人)
  - 8) formation
- 予科リーグが迫った。予科リーグと云つても本科生も加つてゐる。我々は本科生に頼つてゐてはならない。

高橋、松浦、金原 (佐藤の学友)  
10A



我々予科生の元氣を引張つて行かう。我々~~は~~  
の戦術はキックアンドラッシュだ。これを意氣とフットで  
ものにしよう。(奥村)

十月一日(金) 晴。

- ① 体操 ② running ③ dribble 1回
- ④ defence 2回 ⑤ short kick
- ⑥ long kick ⑦ running pass
- ⑧ shooting (free)
- ⑨ clearing ⑩ sliding tackle
- ⑪ formation

予一試合迄あと二日。唯合宿の時、意氣と  
その程度はよくか！ 戦術。

作の調子や、チームの<sup>練習</sup>補強ものは皆、心の  
團結と意氣の力がある。

今度の試合には、何にも考へず、Kick and dash.  
35分間、70分間走りまわそう。

蹴球部再建は果下真か。一歩一歩進む  
真に向つて進む途にかゝる。明日と云はず  
今日の商大蹴球部を回復の豫科だ。  
いつかやろう。(流石記)

十月三日(土) 晴

- ① 体操 ② running ③ dribble (1回)
- ④ short kick ⑤ long kick ⑥ running pass (1回)
- ⑦ shooting ⑧ clearing ⑨ sliding tackle
- ⑩ formation

遂に来るべきものが来た。これ我々のありのままの姿を  
フロントにさらす時が来た。商大蹴球部の再建は  
予科に在りといふ事を心に銘記し我々の。我々の  
出発の最初にして最大の意味に於ける一戦だ。  
皆か抱えつたものを振り、渾身の力をこめて融合し境地  
達しなから勝敗は問題外である。我々の望むものは  
其の境地に諸君の誰もが一人残らず達する事である。  
本科の人達も、今日の練習後、フロントの草取りに莫  
大の労をこめて暗くあるこの備に我々の  
姿を予科生諸君は大いに感懐せよである。

斯うして上級生の心に報せよう。要するに予科の  
強さである。これ商大蹴球部の再建に在りて  
く、捨るべきものである。

今の我々の意氣は一日一日上昇してゆきつ、あつて確信  
である。意氣で敵を打ちつはさぬ。若し若同志の戦  
いから激しい肉体的接触、意氣のぶつかりである。  
技術不足は問題外だ。意氣のまゝ。意氣の当り。  
予科生よ若んぬ。意氣の折れぬは何れも甚だしき



水よりか。特に今夜は僅か三日で而も新入心一  
二部の心。併し秋は如何に変わらぬ内面的な事か  
りは、短くはあつたか。あの思出の多き宿の完成され  
たか。何等不安はなし。  
西内さんと熊さん。我々の予科生の試合を以て来りぬ  
やう。西内さんの心を思ひ、今年入營された在満美  
輩の心を推して、我々には心の内に流れてくる力を  
感ずる。これは商大蹴球部の傳統を守りて行く力  
に外ならず。これに流美輩の生命の流れる我々の心  
内に流れて来り、先輩の心を我々の心とし、一歩進  
進しゆくか。わが心。  
腹の贅金を費した心。部を愛す心は、予科生と  
いかに盛りに上りぬ。からに、そのありの真実  
証言とし、載せたい。  
明日こそ予科の命を投げて出陣する。  
ホームグラウンドにはあつた。グラウンドを譽へる予科  
を我々には余りにも忘れた。  
商大蹴球部の生命は予科のグラウンドにありと  
思ふ時、予科生を在る商大決意が示されて来  
てはあつた。七十方面、これだけ目の前を流る  
か。へは、の定やう。へは、つてはあつた。

(永念記)

十月四日(日) 曇

対事修大学の試合が南大 ground に於て行は  
れた。6-3 で惨敗した。  
俺達は敗れた。口惜しい。「併し俺達は二の位  
存するでは気が軽はずいではない。俺達か奇玉道  
は遠い。六尺も入れられた。これは何と云つて  
Back に缺臭かあつた。殊にBack の力への位置  
にある自分の意気地なさに泣きたくなる。何故か  
へばれぬか。何故倒れて後止まるか。見  
てぬ大人は勿論であつたらうか。我々から意気地  
ない動き、鈍い動きであつた。~~俺達は~~  
俺達が動いてゐる或は勝つかも知れぬ。  
併し、今更何と言つておぼろがる。要するに、  
書き反省の機会が与へられたのだ。これからの  
練習態度とつと積極的にしてやらう。だから  
何を言はれてもつと横ぶるはる。俺達は本  
科生に引きづられやうか。俺達は見えや外見  
にちつととらはれし必要はない。只、真剣に積極的  
に練習してゐれば、とんとんはる。笑。  
大掛先輩も云つてゐたか。男一匹練習するから、つと  
つと、積極的にするんだ。そして毎日の練習を  
全進心残りの無、練習馬らしむべく努めよう。  
ミスはあつた。例へばとなられやうか横ぶるではない。もし  
我々が真剣に練習してゐるならば。(川端記)



十月五日(月) 晴天

練習無し。

自分は昨日の対専修戦で見ても、只一人如何  
と見しかたの氣持で一杯になった。それと共に  
自分の責任を痛感した。

此れまでの自分を振り返った時、度々の故障で  
已むなく練習を休まねばならなかつた事と非常  
に残念に思ふと共に、自分の不甲斐なさに  
自分で自分を叩きつけたい。

今度の予科は、もう一年と二年をける。もう  
三年はあつた。この事を考へると全責任は  
一年に否、自分一人に負はされてゐる。来るべき  
対浦高戦の予と思ふ時、此の  
感が一層痛切に迫つて来る。

今はもう何も無い。只一心に精進するのみ。  
球を蹴り、球を追ふをける。

(坂本記)

十月六日(火) 晴

- ① 体操 ② running ③ dribble (2回)  
④ short kick ⑤ long kick  
⑥ running pass (2回) ⑦ shooting  
⑧ clearing ⑨ formation

練習後瀬藤さんから「formationのみが重要ではなく  
long kickの場合の出足と声も亦非常に大事なものである  
からこれからlong kickに於ても少し注意せう」との注意あり。

対専修戦の惨敗は我々をして愈々「予科よ、奮起せよ」  
の念を鞏固にし物に刻みこませる。昨日予科生が集合  
して對慶應戦に於て、倒れて後止むの覺悟で喰ひ下  
つて行かう。技術の拙劣は我々としては高蹴球部  
傳統のファイトで70分間グラウンドで倒れる迄暴れ抜  
~~く~~誓つた意氣が何かしらひしひしと感ぜられる。  
しかし漸く事故者が續出し佐藤さんがなせだか今日  
休み、高柳は淋巴線がはれて見学してゐる。坂本  
と岡本も足を少し痛めてゐるらしい。それに金曜日は  
防空演習で練習出来ないから心配になる。が、要する  
にあらゆる悪条件を克服するのは氣力、ファイトだ。  
その裏日々に高~~ま~~たがまつてゆく予科の積極性はある  
力強さを覺えさせる。対専修戦を見て、人一倍練習  
しなければならぬのに、いつも故障ばかり起して  
休む自分への自責の念に、たまにたふさぐたふさぐ



にとび出した。やはり未だ走りにくく少し痛むが上級生達の特に本科生達の sub とつての涙ぐましい叱責指導を考へると何でもない。練習しなからでも充分治療出来る事だから唯上級生から言はれる通りに、しかも積極的に、予科の使命に向つてまっしぐらに進んで行かう。

試合迄に正味二日しか練習期間がないが、高犬蹴球部の現在の実力と、その究極の理想とを充分自覚してゐる筈の我々は、あく迄純粹な気持で、しかも底に高犬蹴球部の名譽の爲の懺悔をためる闘志を持つて、玉砕を期しぶつつかうて行かうではないか。

(松岡 記)

十月八日(水) 快晴北風強シ。

- 1) 体操
- 2) running
- 3) 前後, dash
- 4) dribble — free — 一回, defence = 一回
- 5) short kick
- 6) running pass
- 7) long kick — stop and direct
- 8) sliding
- 9) shooting
- 10) clearing
- 11) formation
- 12) running

声! dash の start! kick! せいで dash!  
それだけに熱中すればよい。頑張るぞ。  
(岡本)

十月八日(木) 快晴北風強シ。

- 1.) 体操
- 2.) running
- 3.) dash
- 4.) dribble free 2回
- 5.) short kick
- 6.) circle kick stop and direct
- 7.) running pass 2回
- 8.) shooting
- 10.) clearing
- 11.) formation
- 12.) running

金原さん激気につき練習を休む。今日は予科は授業が午中  
中に終りたる爲練習を二時開始す。此頃の自分の練習には  
我ながら激気がする。formationに於けるだらばさ。自  
分は痛切に責任を感じ、愈々明後日にひかへた対慶應  
戦を自分の最後の試合と思つて ground に倒れた。倒  
れて今日の即説をした。部誌をつけた感想に自分の決心を述べて筆を擱きた。

(竹山 記)

十月九日(金) 曇

- 1.) 体操
- 2.) running
- 3.) dash
- 4.) short kick
- 5.) circle kick
- 6.) running pass
- 7.) shooting
- 8.) clearing
- 9.) sliding
- 10.) formation

寮生が防空演習の訓練に於る爲十三時半より練習を開始す。明日は試合だと思ふとますます気が張り詰めてくる。



十月十日(土) 雨後曇

於日吉グラウンド。豫料リーグ 対慶應戦  
5-0にて惨敗す。敵に比し味方の動き鈍く  
完敗してしまつた。この前の対専修の時よりも悪い。  
第一戦以後の四日間の練習を俺達は何ぞ  
やって来たのだ。毎日毎日向上して行く筈の俺達は  
寧ろ却つて退歩してしまつたのか。此の日、商大に  
生氣の無かつた事は思ひ出しても恥づかしくて  
瀬藤さん始め本料生に顔を合はせられない。  
榮ある商大蹴球部の厂史に恥辱の一頁を加へて  
しまつた此の責任を償ふ爲に今一層奮起せねば  
ならぬ。長い苦難の道と歩まねばならぬ俺達は  
こんな事に挫けずにはっきり踏みしめて一日一日を  
意義ある張りのある生活練習として、最後の勝利に  
向つて突進しよう。

今も胸にこみ上げて来る思ひは、今日の試合は殊に  
Backが悪かつた。就中自分はどうかであつたか、  
思ふと泣いても泣き切れぬ気がする。returnが  
遅くて味方の危機に何もなし得なかつた自分。  
マークする相手を見失つて4サマザ得点せしめられた自分。  
follow ~~を~~を忘れてForwardの逆襲を無に下  
自分。考へれば考へる程、自ら臍甲斐なきに愛想が盡  
きる。こんな事で豫料を背負ふ者の一員として自覺を  
ぬると言へるか。恥を知れ(高柳)

十月十二日(月) 曇

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble
- 4) short kick
- 5) circle kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back's kick
- 9) clearing
- 10) formation
- 11) running

練習後、寮にてコムパロがあり、前二戦の反省。  
各ポジションの技術的研究、注意があつた。  
ホワードには五人の連絡を保守す。バックはアタックが  
弱、から之を矯正すると同時に一人がアタックに行つたら  
後の者はそのボールを必ず取る様にす。などは  
最も重要なものである。

十月十三日(火) 曇

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble
- 4) short kick
- 5) circle kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back's kick
- 9) clearing
- 10) formation
- 11) running

俺達の練習態度には未だ未だ足りない所が  
あるのではなからうか。日に新たなるべき練習、  
それが畢する日課となつたら最後だ。

(高柳)











10月28日 (水) 晴

- 1) 体操
- 2) グラウンド一周
- 3) Dribble (Free. with Back)
- 4) short-kick
- 5) long kick
- 6) running pass (3回)
- 7) shooting
- 8) clearing (2人)
- 9) Formation

十月も最早終りに近づいた。何時も月の終りに在ると今更大に進歩もせず暮して経つたと思ふ悔が残り。毎月毎日と充分によく生き得たか。一時間一時間を練習の二時間に充分に利用出来たか。省みて誠に ~~は~~ ばづかい。

練習日誌を見ると皆の意氣に、立派な覚悟を述べおるので自分にとしては全くよい刺戟 ~~刺~~ 刺である。毎日の練習をともすれば随性でやって行きさるに在るのに対して一年生諸君の清新な言は我々を正道に引き戻す。

しかし諸君は我々と同様技術に於て不健全である。正直に云へば多くの人は旧人校は勿論、各々のホールのに於ける動き方の最初の原理さへ未だ分つておないうた。

( ) かんさんが云つてゐる「いくら意氣が高くても、それを表す技術がなければ何れもならない」と。その爲に午後の休講の時など早くからグラウンドに於て練習をせよ。本業科生も大抵一時間も早くから来て誰か来れば旧人的指導をせよと待つてゐる。我々も一語に練習せよと言はれれば悦んで相手をある。 (集村)

10月29日(木) 晴

- 1) 体操
- 2) running
- 3) Dribble
- 4) short kick
- 5) long kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) clearing
- 9) formation

先輩折下さん、松岡さんの二人が吾々の練習を見に来られた。そして最後の感想に、おとし過ぎる、フォワードの力が足りないと言はれた。永倉さんの文を読んで僕は慚愧にたへない。今迄の様な消極的な練習では進歩しない事は実際よく分つてゐるのだが、積極的な練習を実行出来ない。

浦高戦迄あと一月。争科を荷ふ我々かこんな事でどうするうか。

練習後、十一月五日の日曜に文理大との練習マッチをやる事が發表された。(関本)

10月30日(金) 晴

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble
- 4) short kick
- 5) long kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back of kick
- 9) formation



10月31日(土) 晴

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble
- 4) short kick
- 5) long kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back kick
- 9) formation

練習後、瀬藤さんから明日の對文理大戦につき注意があった。「合宿後若し予科リーグを終へての最初の試合であるから是非勝つこと。声を立てようやうに。フォワードはゴールに向つて突進すること、バックは一人一人敵をつぶすこと」。入學以来勝つた試合を見た事がないのでいさゝか消耗だ。明日こそ勝つたもののである。(松岡)

11月1日(日) 雨

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble <sup>free</sup> <sub>back</sub>
- 4) short kick
- 5) long kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back kick
- 9) formation
- 一年は running
- 10) dash

今日行はれる筈であつた文理大との試合は向うから延期を申し込んで中止。村木、居川両新先輩が海軍幹部候補生の服を着て颯爽と魔援に来られた。金原さんが久しぶりで来て見学する。一年の running は十五分位だったが快調に走れた。(松岡)

11月2日(月) 晴

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble - free-back
- 4) short kick
- 5) running pass
- 6) long kick
- 7) shooting
- 8) formation

校内大會で皆相當疲れてゐるため全員出席して張切つて練習した。予科鍛錬部多しといへども今日練習をやつたのはサッカー部だけだう。(松岡)

11月3日(火) 晴 明治節

- 1) 体操
- 2) running
- 3) dribble <sup>free</sup> <sub>back</sub>
- 4) short kick
- 5) long kick
- 6) running pass
- 7) shooting
- 8) back kick
- 9) formation

思ふにサッカー部程有難い部はない。先日松岡、折下両先輩が來られて我々を勵まし、一昨日は村木、居川両新先輩が來られた。今日は又合宿の終りに二回も來られて我々を叱責鞭勵した大掛さんが來られて一諸に練習して下さつた。爲に皆張切つて今日は近來に及ぶ練習振りであつた。いつもながら威する事だが先輩達の力の入れ方々に対して我々一年はどうであるか、いつも上級生に引きつり廻されてゐるではないか!誠に慚愧に堪へぬ。(松岡)



11月4日(水) 晴

二時半近く練習開始。

- 1.) 体操 2.) running 3.) dribble 九回  
4.) short-kick 5.) Circle Kick (stop and pass)  
6.) running-pass 4回 7.) Circle-Kick (Direct)  
8.) running

今日はや故者多き為、他人プレーの上達に専心す。  
昨日練習を休んだ為、今日は一日心苦しかった。令宿  
終了にはや一月経った。その間の自分の練習を反省に  
みるにまだまた自分に対して甘くと思ふ。練習終了  
部屋へ戻る時一月を振り返ってみる時に何時かなうら  
今日も ground で馬鹿になるのが出来るかつた。へば  
るが出来なかつたといふ。気持ち一杯だ。

ground で馬鹿になる。へばる。僕の毎日の練習  
の念願は此だ。一筋とに達成されるかなうら  
念願。僕は此の念願を達成するまで進んで行か  
ない。

(4) 日記

11月5日(木) 晴

- 1) 体操 2) running 3) dribble (free = 回)  
4) short-kick 5) circle kick (stop & pass)  
6) running-pass 4回 7) Circle kick (direct)  
8) shooting 9) back's kick 10) clearing  
11) formation 12) running

服を着換へてボールを持って、グラウンドに足を踏み  
入れた時に、その日の練習に打ち出す喜びの気持ち  
持つ者が何人あるであらうか。外の人には知らず、  
自分は今迄練習にある種の楽しみを見出して来た。  
所が此の頃になつて、特にこの二三日は上から圧迫  
でもされておる様な重苦しい気分が襲はれて  
変調な目が続く。一体何が原因であるか。  
これを自分に求めようとすると、下らん事を思ひ患つて、  
益々消極的になるのは明白な事だ。外に求める  
のは不可である。さうすれば此の儘強引に押切つ  
無茶苦茶な練習をやつて身体が壊れるために  
何も為へられない様にしたら良いのであらうか。  
毎日こんな事を考へながら結局倒れさせずに  
終つてしまふ。瞞肺甲斐なさ。何處かで堂々めくり  
してゐる様な感じだが、自分だけがどうにも  
ならない。と云つても他人の力を借りるやほ不愉快だ。  
結局の所、自分として最後の打開策は、只一つ



それは“明日だけは気持ちの良、練習をやろう”  
外の日はどうでも良い。たゞ明日だけは自分で  
満足のゆく練習をやりたい。後の日は何にも出来  
なくても構はない。それより外に方法は無いと思ふ。  
(高柳)

11月6日(金) 曇 冷氣ハゲレ

1. 体操
  2. running
  3. dash
  4. dribble
  5. short-kick
  6. long-kick
  7. dribble (バツク時)
  8. running-pass
  9. バツク, kick
  10. sliding-tackle
  11. formation
  12. running
- 今、不純+気持ち。今迄、階性ニ依ル練習が、モト考へたケレバイヤイ。(加夜)

11月7日(土) 快晴

1. 体操
2. Ground / 周
3. dribble 一回
4. dodging 一回
5. Short-kick
6. long-kick
7. Running-pass 一回
8. Shooting
9. Drille-shoot
10. バツクの Kick
11. Clearing
12. Formation
13. Running

一週数週間の練習を振りかへつて見ると自分の  
気の弱さ加つてく感じられる。日々新たなる気持ち

練習出来なかつた。階性に流れてしまつたのだ。  
正座をとり天地神明に誓つて真面目な練習をした  
日は未だ且て無い。亦これに近い練習をした日さ  
へもない。毎日練習の何処かで、吾等と云つてはほ  
つめる。人間といふものは苦痛に対しては全く弱いのだ。  
併し俺達が蹴球するのには苦痛をともなはなかつた  
ら、それは單なる遊戯に過ぎない。苦痛に苦痛を重ね  
て頑強になるとは俺達若人の良いと云ふ。若々し  
いと云ふかある人だ。少い位の事で気が挫けしまつたら  
俺達蹴球部員は所謂“青白きインテリ”となつてしまふ  
過去の俺の部生活考へて見ると、率直なと云ふと、と云  
恥かしくて二に書かぬ。要するに打ち込んで練習  
せよ。馬鹿になつた練習が出来なかつたのだ。又「明日  
からの練習を倒れて中止せよ」と皆の前で言ひ  
切るがその勇気のない自分を笑つてくれ。これからの練  
習ではとんと俺と云つてくれ。卑怯な言ひ迷  
ふも知れぬが「自分に出来るだけの事をして」としか  
今のと云ふ云ぬ。では予科生諸君諸君共にべんた  
つし合ひ助け合つて。元気でやつて行かうではな  
いか。逞しく男らしい人間になるのだ。

(川端記)



11月8日(日)

対文理大練習試合

商 4 (1-2) 4 文

- |    |      |    |    |
|----|------|----|----|
| 加藤 | GK.  | 村木 | 審判 |
| 竹山 | } FB |    |    |
| 鷲野 |      |    |    |
| 松浦 | } HB |    |    |
| 川端 |      |    |    |
| 瀬藤 | } FW |    |    |
| 奥村 |      |    |    |
| 安田 |      |    |    |
| 土屋 |      |    |    |
| 永倉 |      |    |    |
| 高橋 |      |    |    |

11月9日(月)

放課後予科食堂にて昨日、試合二回汗再検討を行つた。更に奮起を要す。  
昭和12年度卒業、森田先輩北支那に歸還され、我々を訪れし。  
検討後昨日試合二回ナカワの者練習を行つた。(カウ)

11月10日(火)

1. 体操 2. グラウンド一周 3. ドリブル 4. フォットキック  
5. ロングキック 6. ドツギンク 7. ランニングパス 8. Back's kick  
9. 五人の Clearing 10. Formation  
川端外傷の爲に缺席。竹山今日の練習中足を痛める。三善もいたんで来ない。大事な時に怪我人が多い。不可抗力で怪我をするものもあるが練習前の体操をカー杯やれば相当身体がやばらなくなつて怪我を防ぐことが出来る。これから軽くなると思ふが二はばつて怪我をし易いからよく準備運動をする必要だ。

11月11日(水)

1. 体操 2. running 3. Dribble - free - w. Backs  
4. short-kick 5. long-kick 6. running-pass  
7. shooting 8. Back's kick 9. formation  
別に云ふこともないが、浦高戦に絡一ヶ月で済むが我々は十人しか居ない。我々は二つならぬ前几積極的に缺員しおけばよかた。しかし後悔しては仕方がない ~~諸君の~~ 皆協力して一先入部をしたいものな。(奥村)



11月12日(木) 晴

1. 体操
2. running
3. dribbling (ボールドリブル)
4. short-kick
5. Long-kick
6. Running-pass
7. shooting
8. Back's Kick
9. Sliding-tackle
10. Formation

余り多くを語るを好まず。要するに今日の日曜の試合に勝てばよい。勝つためには全員の力が、練習もサバゲグラウンドの内と外に在って練習の呼喚が一致せねばならぬ。

11月13日(金) 晴

1. 体操
2. Running
3. Dribbling
4. Short-kick
5. Long-kick
6. Running-pass
7. Shooting
8. Back's Kick
9. Sliding-tackle
10. Formation

愈々明日に試合は迫った。「商大」でぶつかったり、時がある。予科も本科もよい。弾丸の如く飛び込んできたのは、今日のグラウンドの様子には必ず「業匠」に負けた。俺もグラウンドの一員として、甚だ残念なことを覚める。二んふんは「試合目録」だ。グラウンドラインの中三人は予科生と知れないが、本科生に何か加えられたら俺達三人で敵陣を叩き叩く。今年の人には練習が軽いと思われない。今こそ自分に備はるべき技を備へようのである。自分に自分を直しく。それこそ偉大な、修養

じふく何である。浦高戦の予科を見て見れば、我がは力が足りない。とびとびに、昔ふくして何の勝利も、一年生諸君の直攻の要領を、練習に大いに心を懸けてある。何時でもかろうじて欲しい。予科で、僕等の手で、この試合が今一段と高まり来ることを切望する。(真平)

11月14日(土) 急雨後小雨

1. 体操
2. Running
3. Dribble
4. short kick
5. long kick
6. run. pass. 急雨 7 formation

練習中豪雨至る。愈々明日の試合選手権方一戦 対予科医大也。

Bestメンバー ぶつ戦へふんが、全力と盡して戦ふの事。



11月15日(日) 曇 風強シ

午後九時半よりオー生命グラウンドに入場式。  
引續き、日医大グラウンドにて対千葉医大戦  
と行ふ。ノバ次の如し。4 $\frac{2}{2}$ -2 $\frac{2}{2}$  3で勝。

如藤。

太田 菅野

金原 松浦 瀬谷

奥村 安田 土屋 永倉 佐藤

あんふ 4-4 4-3 とは あつた たいしん 試合  
だった。いりいり考へては 新のち  
地い 考へては 不可。2-2 書きたて。

実際は 表と裏とは 何もふいね。

昨日自胸中 思つたこと 明後日の練習は  
グラウンドに 出た中 行はぬ。 (佐藤)

11月18日(水) 晴 風強シ

- (1) 体操 (2) running (3) dribble
- (4) short kick (5) long kick
- (6) バック、入りの dribble.
- (7) running-pass (8) Back, 蹴り合
- (9) clearing (10) formation.
- (11) sub. 1 - 1, フォ, clearing.

あの試合の後を引けて 皆元気にやった。  
風の故か バックの clearing がよく行

かたかった。アト三日間。

11月19日(木) 晴

- 1) 体操 2) running 3) dribble free = 回
- 4) short kick 5) long kick (stop and direct)
- 6) dribble with back 7) running pass = 回
- 4) shooting 5) backのkick 6) formation

いつもいつも 筋力と負けてしまつて、一寸毎に張切  
つたかと思ふとなまけてしまふ。無心に馬鹿に  
なつて練習出来た事は一度もない。一日の練習  
を終つて振りかへつて見て、こんな事で今度の  
浦高戦に勝てるかと反省しても、明るく日の練  
習はやはりだらうなくなつてしまふ。

long kickの時のstartに一番水が早く裏  
はれる。外の練習では大に張切つたつもりにな  
れるが、このlong kick、一番かんいんの時に  
気が腫れてしまふのは未だまだ張切り方が早  
ない證據だ。練習全体としては此頃の晴  
水は日は実に気持ちよい。之を今一層努力  
して long kickの時に満足が後で出た様  
な練習をやる事にとめよう。一日一日を張切つ  
て練習を続け、満足を集めて重ねて行けばま  
つと技術も進歩する事と思ふ。(岡本)



11月20日(金) 晴

- 1) shooting 2) back's kick 3) formation  
一年及の全原荒のみにして 1) kick  
2) dribble 3) running pass 4) dash  
5) running

一年は野外放練のため遅れる。

今日の練習は皆元気があって、気持ちの良  
練習であった。ホワードのゴール前のダッシュが  
もう少し利かす。余り所僅か一日。  
早稲田を春の様にやっつけたかった。(高柳)

11月21日(土) 晴

- 1) 体操 2) グラブ/周 3) ドリブル一回  
4) Short-kick 5) Long-kick 6) Running-pass/回  
7) Shooting 8) Dribble-shoot 9) Back's kick  
10) Formation 11) グラブ/周

拙者をキツカ。attack力に持たぬ自分は明日  
の試合を前にして一沫の危機の念にかたわぶる。  
何れか明日の試合の勝敗は自分一人のplay如何  
にかつて来る様存気加す。平静な気持ち先はずん  
どと鏡に動かし何れか勝つる。明日の相  
手は決して侮るべき相手ではない。all一掃の實力か

どの程度のとか自分には全然分らない。明日の試合と  
して見てどの程度のとか大体分る様存気加す。何とかして  
勝って自信をつけたいものである。そして早稲田とやっつけた。  
早稲田とやればなほ一層高次の現有勢力といふものは  
つきり分るだろう。免に内明日はどのようにも勝ち度い。(川端)



11月 11月22日 11月晴

●学生選手権予選

対上智大戦 於市大

member 下1人

加藤

太田

鷲野

瀬藤 川端

松浦

奥村, 宅田, 土屋, 佐藤, 永倉

5 { 1-0 / 4-1 } 01

1 スコアで大勝

上智, 加藤 team = 5-01 勝利の感

感がスル。マツト相手=トツテ不足+高

マツ。1日1日明日, 木高 早稲田

相手, コレマツ, 加藤 相手ト

相手=トツテ不足ハナイ

(オソ) 早大 恐

イツクソ 石原

高大サッカー部, 一斉即席

研ハル。(床記)

11月23日 晴

選手権予選

対早大戦 於市大

member 下1人

加藤

太田

鷲野

瀬藤 川端

松浦

奥村

宅田

土屋

佐藤

永倉

(後半から永倉, 佐藤, position 変更)

7 { 5-1 / 2-0 } 1

のスコアで大勝。高大蹴球部

の戦術も遂に強敵早大

を撃破。全員が

感である。球程

では文句は

意気

熱の

未

後

は

は

は

は



11月25日(水) 曇 風強し

- 1) 体操
- 2) running
- 3) start dush
- 4) dribble
- 5) backつき dribble
- 6) short kick
- 7) long kick
- 8) running pass
- 9) shooting
- 10) back kick
- 11) formation

### 粉碎せんかね 宿敵浦高

一昨日の對早稲田戦を最後に今日からは愈々本格的に今秋最大の目標たる對浦高戦の練習が開始された。田中君が今日から一諸に練習することになりつて大変うれし。人員不足で未熟千萬は我々一年全部が出なければならぬのが一面うれしくもあり一面心配でもある。とにかく浦高戦を僅か十日後に控へて我々は多言を要しない。敢闘と云ふこと、打倒浦高と云ふことを常に念頭において、時間の許す限りグラウンドにとび出して走る、蹴る。もう何も考へないで浦高撃破一本槍でグラウンド一杯暴れまわる事である。早稲田戦であつた程の意気だぶつつかつても猶7對1で敗れるの<sup>苦</sup>涙が出る程くやしかつたがこの十日間気力は言う迄もなく出來得る限りの技術の上達に努<sup>め</sup>やう。

晩、和かた霧田氣の下に浦高戦出發會が行れて敵機が心はいやが上にも高められる。部誌を書きながらも歡声を神声で圧倒し、立上り際に敵の腰を蹴飛ばしてグラウンド一杯暴れたい気持でもう

むづむづする。「今日のやうな練習では先づ勝てない」と言われたが、明日からの練習では心ゆくばかり振れまわつて本科生にブツブツ文句<sup>を</sup>言わせまい。

本科生よ、予科生が未だナメグチ的存在であるか、蹴球部を盛り上げる原動力でないか、どうかよく見てくれ、必ずしも必ず浦高を一蹴して見せるから。

高潮した敵が心はむつと色々な事を書かせるから我々のやるべき事は言う事にあらずしてグラウンドにて実示する事であるから明日からの馬鹿になりきつた練習を誓つて筆をかく。(松岡記)

11月26日(木) 晴

- 1) 体操
- 2) running
- 3) start ~~dush~~
- 4) dribble free = 10 defence 付 = 10
- 5) short kick
- 6) long kick
- 8) running pass
- 9) heading
- 10) shooting
- 11) back kick
- 12) formation
- 13) running

對浦高戦 練習亦二日目。今日の練習もまだまだ浦高を粉碎せんとする青年らしい、若人の練習どとは云へない。先づ亦一に練習をやるのだ、といふ気概が出ておる。亦二は声がない。永倉さんや奥村さんの小人数が声を出さなければ駄目だ。皆で声をまこせ。亦三には「汚糞!」といふ氣力がな。一寸痛めるとすぐ



自分に負けて了つてぐにやとなつて了。

こんな事で浦島に勝つるは困難である。毎日の練習に自分の心に反省に悔の致らぬ練習にしようとする。全智全靈を擧げて打倒浦島に邁進しよう。

11月27日(金) 曇後晴

1. 体操 2. running 3. start dash
4. dribble Free 2回 defense付=回 5. short kick
6. long kick 7. running pass 8. shooting
9. backのkick 10. clearing 11. formation
12. running.

(以上4山見)

11月28日(土) 晴

1. 体操 2. ground一周 3. dribbling
4. short-kick 5. long-kick \*6. running-pass
7. shooting 8. tackle's kick 9. clearing
10. sliding-tackle 11. formation 12. match
13. running. 予科0-2本科

俺は只口惜しく堪らぬ。あんたは要口雑言されて反撥すべき何等の力も見出されなかつた。いくら俺が俺がといふ氣でやれと云つても毎日の練習に巧つてもな片鱗も現れてはぬ。俺は君達に裏切られぬ氣がした。何んか俺を捉へ

俺に怒いな。俺は確かに非力だ。君達を充分引張ればいふほどの具備はあつた。今は君達も俺自身もよく知れてゐる。それども俺はこれからの。君等もたゞ俺を見捨てる。俺は必ず君等を引摺つて引張つて行く。

俺は今日程つく心自白をぶつたに無力を感して居た。要するに事付本科に在るべきであらう。我々の予科の中に在るべき。その予科の中に在るべき大切なるを本科に横取りされて、漫手傍觀した予科一役あるもの。

練習には山あり谷ありと漑井さんには文句がなかつた。果して今迄の練習に山はあつたか。谷許りもあつたか。

昨日は是れ練習の山を山を望み下りて行くが漑井さんには得ぬといふ。予は、全く俺の練習が至らぬ予科といふ反省省してゐる。人が一歩前には自分が一歩先入る。巧いのは積極的。精神が予科に全然欠けられてゐる。

本本科から予科現出は、欠点だらけのは当り前だ。文句が漑井さんにはあつたが、これは見ても可い。

今迄予科生の態度を望むと本科に怒鳴る可い出来ぬ。この意氣地なしな。本科に自分の声が出る限り大きき。これグラブ一杯の響き直る様な声で、怒鳴つた事はあつた。これ予科が主体とすべし、練習して居る。当然来り流せらるべき本科に怒鳴りて情然といふ。そんな者が、予科生と云へるが。

俺は今迄愚痴を並べた事な程に見えぬ。單に實際を和禪々に書いて居る。俺は折折去る。







11月29日(日) 快晴

体操。ランニング。ドリブル。パス付  
ドリブル。short kick。receive and  
pass。long kick。ランニングパス。  
shooting。dribble-shoot。  
Back's kick。clearing。  
formation。running。

今夜コリ剣道場にて合宿。  
参加者

真平。奥村。川端。オレ。竹山。赤宿。  
岡本。田中。松岡。葛柳。

佐藤は風邪にて缺席。

毎々最後、練習が。オレ達、技術  
ハ大抵敵コリ者ソテナルゴウ。此レ  
カラ、練習デソレヲ取歸ハス事ハ至難  
ガ。カン浦高戦ニ於テハ、技術ヨモ  
闘争心ガ。コレヲ此、合宿ヲ充分ナ  
モトシテ浦高戦ニ臨マラシヤナク。  
怒鳴ラレ位テ、レホムニテ此の合宿  
ハ止メ方が良ク。試合、最中ニハ  
不思議ニ、普段怒鳴ラレテナル事ガ  
頭ニ浮ンテグルモイダ。序、中ニ精々  
怒鳴ラセテヤル位、心持テ  
頑張ラウ。(カニ森)

11月30日(月) 晴

朝七時起床 体操

二年生ノ教練ノ爲練習時間遅ル。

- 1) 体操
- 2) ランニング
- 3) ドリブル
- 4) short-kick
- 5) stop and pass
- 6) long direct kick
- 7) running pass
- 8) Back's kick
- 9) formation
- 10) マツチ

予科0-本科2

今日の練習を終つて後、明日の練習を強す丈である。  
我々は各の任務を全責任を持ちやると同時に他人の  
命遣おはして助けに行かなくてはならない。殊に二年生は  
一年生を充分使はなくてはならない。とモオレは止つて  
ドナツてある許である事がある。今日のマツチは、こちらは  
0点である。残念だ。皆木村君の注意を付けてあるが  
~~木村君~~ 命遣ら出来る限り実行せよ。命遣ら  
やらぬのは最悪い。勿論我々は完全の域に達することは  
出来ないが、自分の出来る限り忠実にプレーすると共に  
敵に喰ひ下る意気を作つて行かう。未だ未だ  
練習にスゴミがないと云はれてゐるが、凄味と云ふ  
のは殊に F.W. では動き足りない事に  
起因しなると思ふ。Backは一人一人完全にマークする  
事が絶対必要だからヤウに Positionを離れる  
事は出来ないが、F.W.は Positionに頼つて  
自由ボールの取れる所迄動いて行かう。



浦高戦は意氣の戦だ。ポンちゃん達の時意氣で破つた  
 と云ふ。我々の技術は拙だ。然し全員本敵のゴール  
 へゴールへ殺到する意氣でやれば技術は補は  
 づく。云々の事は言ひが要あるにアイトで行かう。  
 一つ一つのプレーに大なる掛聲を付けて行かう。アイト  
 は高校の専賣ぢやない。喬大のアイトを見せてやろう。  
 (奥村)

12月1日(火) 快晴

1. 体操 2. running 3. dribble 2.
4. Backは, dribble 2回.
5. short kick. 6. long kick.
7. running pass. 8. shooting, B feed.
9. back's kick. sliding. formation
10. Match

予科 1 — 本科 1.

意氣が次第の上で上るのは認めていれどが 不確不  
 十分とは言へない。

体が疲れて来た時へはぼつたんでは何にもない。

2つがへへていふと云ふは、1回高へはぼつたのど。

それと一歩先へ出る方が先方を制するとはある。

毎日の練習が如何に貴重かは、各自わかつた  
 事だと思ふ。

今日の2ヶ所の注意。

- ① forwardのpassが不正確、つたこと。
- ② forward centerのH.Cと競る時の4の25方。
- ③ スロインの石ハット、石ハットの2-7の25方  
 の注意。
- ④ F.B.のwingと詰めることの早さ。——これは今の所  
 少い研習で遅い。加減。
- ⑤ goal前にはBackは前へ出てattack  
 すること。

- ⑥ forwardの一人一球をとつた時、他のForward  
 の声をおこす際、その声の掛方と、passの出し方。  
 止つて声をおこすこと。  
 初場はpassかおこす者の前へ出遅る。

(佐藤)

12月2日(水) 晴

1. 体操 2. running 3. start dash 4. dribble
5. back付dribble=回 6. short-kick 7. long kick
8. forwardのheading-shoot, backのheading-clear
9. running pass=回. 10. shooting 11. back kick
12. clearing 13. back sliding tackle 14. formation
15. Match 予科0 — 本科3.

今日は最後のMatch。今日こそは本科に勝た  
 うと誓つたが、又敗北を喫した。餘り所あると二日。



おく迄も浦高に勝つ気力と自信を益々強めねば  
 ならぬ。未だ未だ僕は努力が足りなかつた。  
 インナーはグラウンド中を駆け廻つて、混乱の中  
 が、ボールをかき出して幸へパスするのた。ポン  
 ションがなかなかないのた。思ふ存分暴れ廻つて  
 出まゝ大げボールに、敵に、自分の體をぶつけ  
 てやう。今迄の Match でも僕が球を持つ  
 事は極めて少なかつた。フォワードの他の人  
 よりも一番球にふれぬ努力しよう。浦高何  
 かと負けのものが。悔の残さぬ動きで以て浦高  
 を打ちつて人に胸を刺すのた。浦高を負かすのた。  
 (岡本)

12月3日(木) 曇

1. 体操
2. running
3. dribble
4. short kick
5. long kick
6. running pass
7. shooting
8. back's kick
9. sliding tackle
10. formation

明日後日と存つては技術上の事は問題でない。  
 只、火の玉となつてブツカル評である。  
 合宿は一同元氣旺盛で夫々表面は平静であるが  
 激しい気魄を胸に持つてゐる事が感ぜらる。  
 (高柳)

12月4日(金) 曇

1. 体操
2. running
3. dribble
4. short kick
5. long kick
6. shooting
8. back's kick
9. formation

愈々明日だ。二年生の一年数ヶ月の練習、一年の数  
 ヶ月の練習の總決算は愈々明日だ。この十日間の練  
 習は自分として全力を盡したつもりだったが今日ふりか  
 へて見ると心残りの臭がらけた。技術上の未熟は勿  
 論、試合は明日が始めてはつて不安な気持ちがしだい  
 でもぬいだが唯根限りグラウンド一杯暴れまわると覺悟  
 である。技術の足りない僕にとって頼るべきは唯フット  
 のみである。黙々腹を据えて明日宿敵を迎へ見事一  
 泡ふかせてみせやう。勝ちたい!(松岡)

12月5日(土) 晴

遂に勝つた。雌伏スレバ予科か遂に宿敵浦  
 高を降したる。戦前、技術上では叶はぬが、フイ  
 トで当つたかうと云つた筈の気持ちが一ツにふつて、技と  
 フットの浦高を降したつた。吾等の志は是に過ぐら  
 ぬ。蓋し一年生諸君の奮闘見ると、逐日の吹  
 矢、11月5日今日一ツ日10分の試合で僕に余りあつた  
 感あり。それは諸君等の努力の賜である。



深く民ぶと女に、その背後にありて、連日鞭打せられ来りし  
 本科生の苦勞に對しては、滿腔の謝意を述べよ也。  
 惟ふに、商大蹴球部に入り来りし者の大半は、皆蹴球  
 は零より出たせりとの事にて、入部前蹴球の経験ありし  
 者僅少にすぎず。併しよく一年を以て心投其に商大蹴球  
 部員として入りしは之に准加者不ぞ也。若くは之に當りて、  
 諸見習は三省五省すべしと確信す。かくすれば、活字  
 の習力も益々ふるぬものありしと思はる也。之を率いて以て  
 上級生の思ひ遣りにとる大なる貢獻を為したるに於て  
 痛感すべし。しかもその身に invisible hand と  
 云ふべき商大蹴球部の先輩達の血と汗と魂と信  
 託の力が、痛むに思ふべし。只今頭を下に  
 思ふのみならず、

商大蹴球部の現況に即すに、豫科の巨首の今日  
 リ大なる力を知らべし。而して漸々毎日はその力一  
 歩ふたせり。勢は實に恐るべし。此の勢に乗じて  
 商大蹴球部を盛り上げ給はば、予科と云ふ  
 こと、立上人哉 予科と諸君。

商大予科 / } 1-0 1-0 1-0 満高

田中 永倉 佐藤 岡本 奥村 [注] 前半一員は、佐藤  
 松岡 川端 高柳 の中盤よりのクレーン・ネット  
 森崎 竹山 リ之決定点と云ふべし。  
 加井  
 (真平)



	1	2	3	4	5
水倉	✓	✓	✓	✓	✓
奥村	✓	✓	✓	✓	✓
加茶	✓	✓	✓	✓	✓
川端	✓	✓	✓	✓	✓
佐藤	✓	✓	✓	✓	✓
高柳	✓	✓	✓	✓	✓
竹山	✓	✓	✓	✓	✓
岡本	✓	✓	✓	✓	✓
坂本	✓	✓	✓	✓	✓
宿原	✓	✓	✓	✓	✓
松岡	✓	✓	✓	✓	✓
<del>寺尾</del>	✓	✓	✓	✓	✓

(注意)

- 1) 一日交替 = 洗滌ナク返スト
- 2) 都室ハ停ヲ来テ 〆 渡スト (皆 = ミセルガ)